宮窪漁港（愛媛県今治市）（第２種）



【宮窪漁港の概要】

瀬戸内しまなみ海道沿線の大島に位置する宮窪漁港は、往古より村上水軍の根拠地として栄えてきました。生産拠点漁港である本漁港は、登録漁船数200隻余りと、県内漁港で屈指の隻数を有しており、小型底引き網漁や刺し網漁などの海面漁業を中心とした漁業が展開されています。魚種別では、カレイ類やタイ類、イカ類など、多様な魚介類の水揚げが盛んで、特に本漁港で水揚げされるマダイのうち、日本三大急潮流の来島海峡周辺で育ち、一定基準を満たす天然鯛を「10（テン）ノット真鯛」としてブランド化しています。また、本漁港を拠点とする潮流体験船や水軍レストランが漁協により運営され、都市部観光客との交流が行われています。

【事業の目的と概要】

防災拠点漁港である本漁港は、大規模災害時における支援人員、物資等の緊急輸送ルートとして、防災拠点港である今治港を補完する海上輸送ルートに位置付けられており、災害による被害を最小限に抑える必要があります。このため、護岸及び臨港道路における耐震性の確保を目的に、機能強化工事を実施します。

【事業期間、整備内容】

令和６年度～令和８年度　護岸、臨港道路（改良）



護岸



臨港道路

